



個票 18 排水施設の設計の工夫による小動物の生息環境の創出〔森 2(2)③2-1〕

(2011年作成)

配慮の視点	種の多様性への配慮	配慮項目	野生生物の生息・生育環境の保全・創出
配慮事項	空隙の多い環境の保全		
配慮事例	護岸や根固め工での網柵などを用いた植生護岸や空隙のある材料の使用		
内容	<p>●排水施設の設計の工夫による小動物の生息環境の創出</p>		
	<p><b>【解説】</b>                      林道の排水施設は、溪流から集めた水を早期に排出することで、林道の維持と交通の安全を図ることを目的としていますが、設計を工夫することで、小動物の生息環境を創出することができます。</p> <p><b>【具体的な工法・配慮事項】</b></p> <p>●設計上の工夫                      施工箇所ので地形や小動物の生息など様々な状況を十分に把握したうえで、流量の安定を確保しつつ、小動物の生息空間となる土砂や落ち葉の溜まる場所を作ります。</p> <p>●石詰工などによる多孔質の空間作り                      溪流など常に水のあるエリアでは、石詰めのカゴ枠工や石張工など、石積みを使った構造を取り入れることで、水生の小動物の生息場所を創出することができます。</p> <p><b>【事例 1】</b></p>		
<p><b>【場所】</b>                      兵庫県 林道瀬川・氷ノ山線</p> <p><b>【環境配慮の内容と方法、工法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上流側に流木除けの石詰め鋼製枠を施工している。</li> <li>・ 現地採取の石積工により、施工後 2 年で在来草本の繁茂が確認できた。</li> </ul>			
 <p>従来の集水工</p>			
<p>出典: 1</p>			

**【事例 2】**



**【場所】**

兵庫県 林道瀨川・氷ノ山線

**【環境配慮の内容と方法、工法】**

- ・ 排水施設の石張工による改良工事
- ・ 現地採取の石を使っており、環境に配慮した工法といえる。

出典:1

参考資料

- 1 「瀨川・氷ノ山林道」周辺の自然環境調査」兵庫県但馬高原林道建設事務所